

# こども権利ってなあに？

だいごう 第2号 2022年7月



武蔵野市では、「子どもの権利条約」に基づき、市を子どもにやさしいまちに  
していくことをめざして子どもの権利についての条例をつくる準備を進めています。

今回は、子どもの権利に関する条例検討委員会の中間報告についてのアンケートや意見  
の結果などについて紹介していきます。



## 委員会の中間報告について パブリックコメント(意見募集) ご協力ありがとうございました！

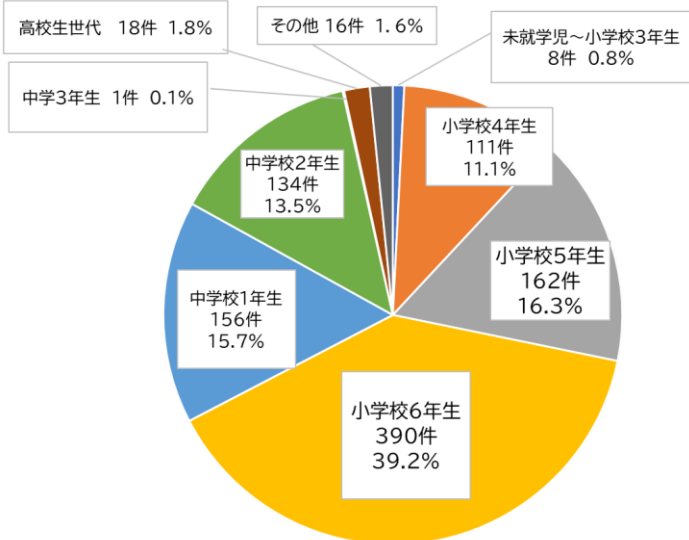


令和4年5月15日～6月6日まで実施した、子どものパブリックコメントについて、996人の方にアンケートに  
回答していただきました。たくさんの方が子どもの権利に興味を持ち、意見を寄せてくださり、うれしく思います。  
ご協力ありがとうございました。

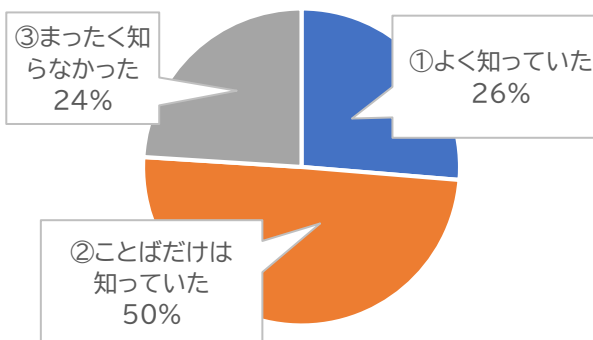
いただいた意見は、委員会に伝え、条例づくりにかかっています。

アンケートの結果やいただいた意見の一部を紹介しますので、ぜひご覧ください。

### 質問① 回答した人(996人)の内訳(学年)

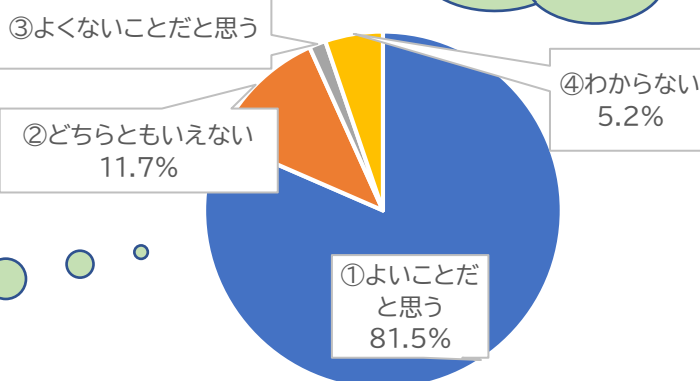


### 質問① あなたは、「子どもの権利」について 知っていましたか？



「よく知っていた」と「ことばだけは知っていた」はあわせて76%でした。

### 質問② 武蔵野市が子どもの権利についての条例 (ルール)をつくることについてどう思いますか？



80%を超える多くの方が「よいことだと思う」という回答でした。

質問③ 「こどものけんりってなあに？」を見て、特に大事だと感じることや興味のあること(3つまで)

	件数	順位
①前文(ぜんぶん)【条例(じょうれい)で大事にしたいこと】	161	
②子どもの居場所(いばしょ)	374	3
③子どもが意見(いけん)を表(あらわ)したり参加(さんか)すること	262	4
④子どもの安心(あんしん)・安全(あんぜん)	486	1
⑤子どもの権利(けんり)を知(し)ること	134	
⑥いじめを止(と)めること	431	2
⑦子どもの相談(そうだん)	193	
⑧すべての子どもへの支援(しえん)	219	5
⑨おとなになるための支援(しえん)	118	
⑩子どもの権利(けんり)を守(まも)るための大人の役割(やくわり)	136	
⑪条例(じょうれい)の考(かんが)えを実現(じつげん)するための取り組み	160	
合計	2,674	

「安心・安全」「居場所」「いじめ」は特に多かったです。

自由意見の紹介

「こどものけんりってなあに？」第1号を見た感想や子どもの権利に関する条例についての意見をきいたところ、649人の方からご意見をいただきました。

たくさん寄せてくださった意見の一部にはなりますが、カテゴリごとに紹介します。

これを見て、まわりの友達やご家族などと話してみてくださいね。

全体的な意見

- ・そこまで権利についてよく考えてはいなかったけどこれを見て権利が大切だということがあらためてわかった。
- ・みんなに子どもの権利条約が伝わってほしい。
- ・自分たちの権利を守ってもらえる条例ができると知って安心した。
- ・条例を作るのに私達子どもに意見を聞いてくれるのは、とても嬉しい。
- ・早く条例が明確に確立して、すべての子どもがのびのびと暮らせる武蔵野市になって欲しい。

前文

- ・子どもの権利を守ることは重要だ
- ・子ども一人一人が個人として尊重されることはとても大事だと思った。大人も積極的に取り組んでほしい。
- ・武蔵野市が子どもにやさしいまちになることを願っている。
- ・どうやってやさしいまちにしていくのか具体的に説明してほしい。

子どもにとって大切な子どもの権利

- ・中学校では、お化粧はだめ、肌の露出は避けるなどあるが、自分がしたい格好をすれば良いことなのではないか。
- ・辛いときは休んでもいいことを知るといのはとても大事だと思う。
- ・自由に意見を表すことはとても大事だと思う。これからの時代は大人だけでなく子どもの意見も積極的に取り入れていくべきだ。
- ・差別されない権利はきちんと大切にしたい。

子どもの権利について、あまり知らなかったが大切だと感じた声、自分たちの権利を守ってもらえるのが嬉しい、安心するという声が多く寄せられました。

## 子どもの相談

- ・少しでも、「これって正しいことなのかな？」と疑問に感じたら子どもだけで利用できる相談所があるといいな、と思う。
- ・もっと気軽に相談できるようにしたい。例えば、一ヶ月に一回、相談室に困っていること以外でも、お話しに行くなど。
- ・子どもの相談内容は個人の情報だから、相談を受けた人は子どもの秘密を守るのがいいと思う。
- ・相談に関しては電話だけでなく、他にも色々な手段(インターネット上のチャットや手紙、メール等)で相談できるようにしたほうが良い。



子どもが相談しやすいように相談方法の工夫や、先生など身近な大人に相談したい、秘密は守ってほしいなどの意見がありました。

## 子どもの居場所



- ・子どもにとっては自分の居場所があるということが一番安心する。
- ・子どもたちだけで予約や登録などをしなくても勉強をしたり、教え合ったりできる施設がほしい。
- ・小学校高学年から中学生は、遠くに行くこともできず、遊ぶところが少ないので、中学生が思いっきり遊べるような場所を作してほしい。
- ・学校など社会の場で居場所を作ることが大事。

## 子どもが意見を表したり参加すること

- ・大人が子どもの意見を尊重し、しっかり子どもと向き合ったという経験は、子どもにとっても今後の人生に大きく関わると思う。
- ・市の政策や計画に子どもの意見を聞くことはいいと思う。
- ・子どもは親に対して自分の意見を言えないので子どもと大人が対等な立場になって親とも話合えるようにしたい。
- ・子どもが意見を表し、もっと政治に関わっていけるようになれば良い。
- ・ムサカツなどの活動をもうちよっと多く行ったほうが良い。
- ・いじめや差別などをなくし、学校のみんなが仲良く安心して学校生活を送れるようなルールを子どもの意見を聞きながら作ってほしい。



「大人と対等に子どもの意見をきいてほしい」という意見が多くありました。自分のことは自分で決めたい、学校内でも子どもの意見をきいてほしいという意見もありました。

## 子どもの権利を知ること



- ・学校で授業をするなど、子どもの権利について聞ける環境をつくった方がいい。
- ・チラシだけではなくポスターや、動画、インターネット、新聞などで広めたらよと思う。
- ・幼いうちから子どもの権利を伝えていくことは大切だと思う。

いじめが起きたときの相談場所やいじめのない安心できる場所をどうやってつくるかなどの意見がありました。

## いじめを止めること

- ・いじめについてのことは、すごく深刻なことなので、もっとしっかりと体制を整えてほしい。
- ・本人はいじめと感じていないけれど他人から見たらいじめということが多発している。
- ・いじめが起きたとき、それをだれかだけが抱えこまないように、教育委員会などに適切な報告がいくような組織をつくってほしい。
- ・いじめをしてしまう人もストレスや悩みを抱えているかもしれないので、心のケアをできるようにしたほうが良いと思う。
- ・いじめだけでなく、ちょっとした意地悪、嫌がらせや陰口などを間接的に聞いて誰かが傷つくような行為をなくせるような武蔵野市にしてほしい。



## 大人の役割

- ・先生も一人一人大切にできるように、幼稚園・保育園・小学校・中学校の先生の人数を増やしてほしい。保護者と子どもの悩みを聞ける人数にしてほしい。
- ・子どもの権利は、大人が知らないという意味がない。



## おとなになるための支援

- ・子どもが大人になるときに、自信を持って社会で生きていくための支援を受けること。
- ・子どもが大人になるために税金や仕事(職業)、法律やメディアリテラシーについて詳しく教える教室を開くのがいいと思う。
- ・成人になることについてよく理解できる場が増えたらいいと思う。



## すべての子どもへの支援

- ・子どもは、一人一人にあった支援を平等に受けることができた方がいい。
- ・色々な子どもが他の子どもの特徴的な行動や、障害のある人の気持ちをしっかり考えられていく子どもたちになるのを支援したほうが良いと思う。



## 子どもの安心・安全

- ・複雑な曲がり角などでは事故などが起こりやすいので安全に通れるようにするために、カーブミラーなどの設備を増やしてほしい。
- ・大人の子どもに対する暴力的な発言や暴力を防止する。
- ・いじめ、虐待を防ぐために学校や保育園の先生に最低でも2ヶ月に一回はいじめや虐待がなかったか聞き込みをする。
- ・いじめや虐待などが起きたときに子どもが大人に相談することができないときにどういう対応をするのか。

## 条例の考えを実現するための取り組み

- ・すべての子ども達に実現させるのはとても難しいことで、どうすれば、すべての子ども達が権利を持てるのか、考えることが大切だと思う。
- ・具体的にどのようなことをしているかが可視化できるようにしたらどうか。

## 本当にたくさんの意見ありがとうございました！

みなさんならではの視点の考えや思いを聞くことができ、とても参考になりました。



今回は一部の意見しか紹介できませんでしたが、こちらからすべての意見を見られます。

## 令和4年度 Teensムサカツ 実行委員会が始まりました！



これからの市について意見を出し合う場「Teensムサカツ」の中高校生世代の実行委員を募集したところ、35名の方が参加していただけることになりました！

6月12日(日)に第1回実行委員会を開催し、子どもの権利について、グループでの意見交換をしました。意見の詳細を知りたい方はこちら👉をご覧ください。

意見は次号の「こどもの権利ってなあに？」でも紹介する予定です。



編集・発行／武蔵野市子ども家庭部 子ども子育て支援課  
電話：60-1851  
ファクス：51-9417  
メール  
sec-kodomokosodate@city.musashino.lg.jp